



シーフードセンター八幡浜開所式

8月臨時会・9月定例会の概要

平成26年8月8日の臨時会は、報告5件、その他2件、計7件が上程され、原案のとおり可決等されました。

平成26年9月定例会は、9月2日に開会し、18日間の会期で19日に閉会しました。

この定例会において、市長提出の報告6件、諮問1件、予算案6件、条例案11件、その他4件、計28件、また議会からその他4件の合計32件が上程され、その内、認定3件については、閉会中の継続審査となりました。

また、6月定例会において閉会中の継続審査とした請願第6号及び第7号については、継続審査となりました。

その他の案件については原案のとおり可決、決定等されました。

【9月定例会日程】

会議日	会議別	会議内容
2日(火)	本会議	議案の上程 提案理由の説明
8日(月)	本会議	一般質問(4名)
10日(水)	本会議	議案に対する質疑
	委員会	総務委員会
11日(木)	委員会	民生文教委員会
12日(金)	委員会	産業建設委員会
19日(金)	本会議	委員長報告 討論、採決

※次回定例会は12月に開催の予定です。

市政をただす 一般質問



今定例会では、4人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をたしました。

質問及び理事者答弁は質問者本人が要約したものです。

なお、掲載は質問順、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

一般質問者

No	質問者	No	質問者
1	平家 恭治	3	河野 裕保
2	樋田 都	4	遠藤 素子

会議の詳しい内容を知るには

本会議の内容をそのまま記録した文書として会議録があります。

会議録は、議会事務局、市立図書館、中央公民館、中央公民館保内別館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページ上でもご覧になれます。



平家恭治議員

質問事項

- 中央公民館保内別館及び市民会館の今後について
- 放課後児童クラブについて

中央公民館保内別館及び市民会館の今後について

問 保内別館は、昭和48年度建設され築40年以上経過している。合併前は保内町の中心施設として利用されていた。現在も変わらず利用されている。その利用状況はどうなっているか。

答 平成25年度の開館日数は359日、利用者数は2万5413人、1日平均71人、利用件数は1375件、1日平均4件である。利用者、件数とも前年度並みである。

問 保内別館は、災害時の避難場所になっている。耐震診断の調査結果はどうか。

答 平成25年度に耐震診断を実施。I s値は0.4で、I s o値の0.54を満たしていない。耐震化するには相当の経費が必要である。

問 保内別館の中には、宮内公民館の事務所があるが、保内別館の今後の在り方についてどう考えているか。

答 今後、宮内・川之石地区公民館を新たに整備する。保内別館は廃止を検討する。その後、駐車場として利用したい。

問 市民会館の廃止と跡地利用はどう考えているか。

答 築後43年が経過。耐震性にも問題がある。運営審議会で廃止を決定した。跡地利用については白紙の状態である。

要望 宮内公民館の早期建設を要望したい。場所の検討をしており、協議が整い次第着手する。

放課後児童クラブについて

問 市内にある13小学校のうち、8校に放課後児童クラブが設置されているが、その利用状況はどうなっているか。

答 登録者数は、108人。1日あたりの利用者数は、68・6人であり、登録者に対する利用率は63・5%である。

問 児童数の減少により、空き教室があると思うが、空き教室を利用した運営はできないか。

答 現在、松蔭の放課後児童クラブのみ利用している。今後、空き教室の利用を前向きに検討したい。

問 定員に余裕のある放課後児童クラブに校区外からの受け入れはできないか。今後、利用料の改定はあるのか。

答 現在、校区外からも受け入れをしている。子ども・子育て支援新制度が27年度から始まり、定員の見直し、利用対象者が全学年児童となるので登録者が上回る場合は適正に審査する。指導員も増員し、人件費が増えることから、利用料の改定も検討する。



樋田 都議員

質問事項

- 1 少子化における子育て支援について
- 2 新市立病院へ期待することについて
- 3 市民の要望から

問 子ども、子育て会議の議論内容と保育士不足の現況及び里帰り出産や第2子出産での第1子の受け入れや緊急時の預かり体制の充実はどうか。

答 子ども、子育て会議は、15名で構成しておりニーズ調査の結果をふまえ平成27年度からの新制度スタートに向け幼稚園、保育所の利用料や放課後児童クラブの定員や利用料等具体的な内容も議論していく。12保育所及び児童センター、エンゼル広場に正規保育士50名43%、臨時保育士37名32%、パート保育士30名25%である。臨時保育士に対しては、平成24年4月に賃金及び勤務年数も最長11年まで雇用できると見直した。今回採用にならなかつた方にもぜひ臨時保育士としてお願いをしていきたい。里帰り出産等年度中の突発的な入所に可能な限り対応するよう努めている。

問 保育所のあり方検討会での統廃合計画への報告及び当市の保育サービスへの充実を図る対策はどうか。また小・中学校の統廃合の終着をどう考えているか。

答 保育所数を6地区、6保育所とし新たな施設を設置し延長保育やアレルギー除去食の提供、一時預かり保育の実施などさらなる保育サービスが必要であり、民間委託実施に向けて検討も必要であると報告を受け、旧八幡浜市中心部の統廃合から進め統

合後の新たな施設は、障害児支援施設等を併設する八幡浜を代表するような総合的な児童福祉施設になるよう検討を進めていきたい。民営化への準備を進めており、ある程度作業も進捗している。準備が整えば説明したい。小・中学校の統廃合も少子化が今後より一層進んでいくことから改めて検討委員会を設置し方向を出していく。

問 看護師不足の現況と打開策及び今後の対応について伺う。

答 現在、稼働病床数を223床から200床と削減し、看護師89人、臨時看護師5人、看護助手13人、クラーク4人で対応している。平成22年4月、看護師等修学資金貸与制度の新設により現在までに22人の学生が利用し7人が当院で就職、15人が貸与中であり、本制度により確実に看護師確保になっている。院内での研修制度の充実やスキルアップのための教育制度に取り組み看護師の負担軽減を図るとともに待遇の改善に努めている。新病院での院内託児所、病児・病後児保育所設置に対しては、子育て支援の主要事業の1つとして担当課とも協議し検討していきたい。

わが町のわが病院を市民総ぐるみの支援運動で育て守ってほしい。



河野裕保議員

質問事項

- 1 人事管理等について
- 2 人件費等について

1 本市の正規・非正規職員数について

問 市長部局、水道、市立病院を含めた目標とする職員数に対して実数が下回っている。合併時と平成26年4月1日現在の目標職員数と実数を部局ごとにお聞かせ願いたい。又この間における非正規職員（臨時・嘱託）の推移についてもお答え頂きたい。

答 正規職員は、合併した平成17年度が一般行政部門433人、水道事業13人、病院事業299人。定員適正化に基づき削減して一般行政部門は26年度363人の目標に対し353人、水道事業は14人に対して15人、病院事業は257人に対し215人。全体では目標を上回る削減となっている。市長部局の臨時職員は18年度113人、26年度121人。嘱託職員は18年度89人、26年度110人。水道の臨時職員は18年度、26年度とも1人で、嘱託職員はゼロである。市立病院臨時職員は18年度99人、26年度99人。嘱託職員は18年度ゼロ、26年度6人である。

2 適正定員数と業務量について

問 職員数と業務量は相関関係にあると理解する。定員数の導き方は、ミクロ方式では、行政事務量を測定して必要人員を算定する。マクロ方式は、職員数と行政需要を表す指標などで比較し統計的手法を用いて職員配置水準を検証する。3番目は、財政上の人件費分析を通じて全体的なチェック

を行うことで定員の適正化を図っていくものと認識している。正規職員は合併以降26年度までかなりの削減が見受けられる。要因としては行政改革を先行し、アウトソーシングによる業務委託、事務事業の見直し、業務の一元化、人口の将来予測等による業務量の測定等で職員定数が削減されていると解する。合理的な業務運営及び将来予測を考慮した諸施策の展開によって人件費のコスト削減は図られるが、このことにより行政の領域が縮小し、公（官）と民の2極化の方向に進むと予測する。小さな自治体コンパクトな役所ということになると思われるがそう認識してよいのか。又、正規・非正規職員の人事管理体制での業務遂行に問題はないのか2点お尋ねする。

答 行政改革推進計画に基づき指定管理者制度の導入、課の統廃合、事務事業の見直し、職員採用の抑制等により削減している。今後も組織としての機能、住民サービスの低下に繋がらないよう住民目線に立った行政運営に取り組んでいく。臨時嘱託職員は専門性のある業務の補助に従事している。しかし、現在は職員数の削減により、正規職員がすべき業務についても非正規職員が一部担っている。今後も適正なバランスを十分見定めると共に能力に優れた人材を採用して参りたい。



遠藤素子議員

質問事項

- 1 将来を見通し、全市民を対象にしたまちづくり計画を
- 2 介護保険の改定で市の負担はどうなるか
- 3 もし伊方原発で過酷事故が起ったらどうなるか

問 現在の八幡浜市をどのようにとらえているか。特に、八幡浜市の今日の少子高齢化や貧富の格差など、アンバランスな地域になった原因をどのように捉えているか。

答 基本的には非婚化、晩婚化が進み、子育て環境が不十分だった影響により少子化が進んだこと、また医療技術の進歩により長寿化が進んだことなどの結果ではないか。また、若者の流出が多く、高齢化が顕著になっている。雇用の形態が正規雇用から派遣など非正規雇用、短時間雇用に変化したことが原因との声があり、国政レベルで判断、調整されるべきだ。

問 県事務所が松柏にあり市役所が本町にあった頃、八幡浜駅前も今ほど閑散とはしていなかった。が、二つの役所が港の方に移り、県の方針で国道56号線沿いに地域づくりが進められる中で、八幡浜市は中心から外れた少し不便な地域になった。国政では、戦後70年間の多くを自民党が政権党として進めてきたのは、アメリカ言いなり政治と、極端な大企業中心主義という異常な政治だった。その結果、働く人の所得が減り続け、経済全体が停滞、縮小し長期債務残高が先進国で最も高い水準の国となった。地方でも同じだ。このまま手を打たなければ、人口も減り続ける。将来を見通して全市民を対象にした特徴ある街づくりのビジョン

ンを示してほしい。市民の声、ニーズに沿った街づくりをすべきだと思うがどうか。

答 この4年間市政懇談会で17地区公民館を回ってきた。今年さらさらに地区を増やし、ひざを交えて市民の皆さんの意見を聞いている。機会があれば、どこへでも出かけていきたい。

問 現在、公共施設の老朽化が課題となっている。学校、エレベーターのついでない福祉センターや公民館、道路や橋、水道管など、どれをとってもじっくり計画を練る必要がある。市は、本来やるべき仕事に立ち戻るべきとの声もあるがどうか。

答 新しく造ることから賢く使うことへの重点化を課題として、国からの通達もあり耐震化工事や長寿命化計画に基づいて、改修工事を適宜実施している。

伊方原発が全機止まってから2年半余が過ぎたが、電力は余裕があるようだ。もし伊方原発で福島のような過酷事故が起これば、市民はどうなるか。避難計画に沿って、いろいろな場面を想定しながら質問したが、実効性のある避難は大変に難しく難しいことを実感した。再稼働はできないし、廃炉に持っていくべきと強く主張して質問を終えた。

総務委員会報告

樋田 都 委員長

過疎債の変更について

問 松蔭小学校屋内運動場及び八代中学校木造校舎地震改築事業の財源を過疎債から全国防災事業債及び緊急防災・減災事業債に変更しているが、財政的にどのくらい有利になるのか。

答 過疎債は起債充当率100%、交付税措置率70%であるが、全国防災事業債は起債充当率は同じく100%であるが交付税措置率は80%でありその10%増加分が財政的に有利になり、全国防災事業債に1億7740万円変更することによって約1770万円有利になる。

広報拡声器設置補助金に関連して

問 地域個別のコミュニティ放送とは別に防災の放送があるが、地区によっては防災の放送が聞き取り難い地区がある。そのような場合、防災の放送にも地域の設備を使用するなど放送設備の一元化はできないのか。また大雨等により窓を閉めていたら放送が聞こえないがその対策を考えているのか。

答 今回予算計上している各地区が独自で設置している広報拡声器については各公民館等に設置してある放送設備から有線で子局の拡声器までつないで放送しているが、防災行政無線は、その子局の拡声器まで無線を飛ばして放送しているため天候、電波状況、ハウリング等により放送が聞き取り難い場合がある。

現在、放送が聞き取りにくい方への対策として、電話を掛けていただくことにより放送の内容が分かる音声自動応答サービスを開始する準備をしており設備が整い次第番号及び制度の周知に努めていきたい。また、今後の対策として、家の中でも放送が聞ける戸別受信機の設置について検討を行っているが莫大な費用がかかるため財源の問題等もあり具体的な事業実施には至っていない。その他、防災ラジオ、八西CATVの活用等、より良い方法がないか検討を行っている。

請願第6号 伊方原発を再稼働させないことを求める請願について

請願第7号 避難計画が策定され住民の安全が保障されるまで、伊方原子力発電所3号機の再稼働をしないことを求める意見書提出についての請願書

この請願2件については、慎重に審査を進める必要があるため全会一致で閉会中の継続審査となる。



調布市太陽光パネル (総務委員会 視察)

民生文教委員会報告

石崎 久次 委員長

臨時福祉給付金について

問 臨時福祉給付金の申請はいつまで受け付けるのか。

答 国の基準が最高6か月なので、申請期間を7月2日～12月26日までとしている。8月末の申請率は約66%の6845人分である。

問 まだ申請されていない支給対象者に対して個別に連絡をするのか。申請の仕方が分からない人にはどうするのか。

答 再度申請を促す案内文書を送付する。申請が分からない方には、問い合わせがあれば説明する。

旧八幡浜市立図書館現況調査委託料について

問 旧図書館は日土小学校の校舎と同一視できるだけの価値があるのか。

答 旧図書館は松村建築として日土小学校よりも5年前に建築をしている。松村建築の特徴である光を多く部屋に取り入れる両面採光など設計のアイデアは、川之内小学校、旧図書館等で育てながら日土小学校に繋がったと捉えている。ただ保存するだけではなく活用ということがある。旧図書館は市の中心にあるため先人を顕彰するよきな教育文化施設にできないか考えている。

問 旧図書館の設計図は現存することだが、なぜ現況調査に251万5000円も調査委託料が必要なのか。

答 昭和26年に新川沿いに建設され2度移

築している。現在、設計図は残っているが、現場の施工図は残っていない。図書館、児童クラブとして使用する際、いろいろと変更されているため、原図とどう変わっているのか調査が必要となる。また木造のためシロアリによる被害、柱の含水率の調査、ピロティン検査なども行う。今あるものを残し使用する方が経費も安く、文化的にも大事であると考えている。

市立八幡浜総合病院改築事業のインフラスライド費用について

問 今回平成26年度から平成28年度までの期間で6億5113万8000円を追加するとの説明だが財源の内訳はどうか。

答 国県支出金7339万8000円の増額、企業債を5億7770万円、その他の調整額が4万円である。

問 国県支出金と企業債の金額とではバランスがとれていないのではないかと。

答 国県支出金は、面積あたりの補助単価に上限があり、わずかな増額となった。

問 国、県がインフラスライドの適用を求めているのであれば、前述のバランスはおかしいと思うがどうか。

答 おっしゃる通りで、インフラスライドを指導するが、その裏付けとしてこれだけ補助を増やしますというのはあってもいいと思っておりますが、その部分は、受注者側からの請求に対応してくれと、そこで止まっている訳である。

産業建設委員会報告

遠藤 素子 委員長

平成26年度一般会計補正予算、農林水産業費、中山間地域等直接支払制度交付事業交付金について

問 八幡浜市全体で対象面積およびその使用方はどのようになっているか。

答 面積は現在、約2613万4538㎡。交付金は、国からの指導通り、農家と集落に半分ずつ分配しているが、集落によっては、共同施設の整備ということで積み立てているところもあると聞く。現在、27年度からの協定に向けてのヒアリング中である。

問 高齢化に伴い、放任園が増加しているのではないかと。

答 現在放任園の面積は169haで、全体の6.5%となっている。年々増加傾向にある。

住宅リフォーム補助金について

理事者説明 市内に住んでいる住宅で、市内の建設業者が施工するリフォーム工事が対象。全体が20万円以上の工事に対して10分の1を補助する。この事業は3年半を予定しており、20万円を補助の限度額とする。

問 築後何年とかの要件はあるか。トイレを洋式に換えるとか、風呂の浴槽をユニットに換えるなども対象になるのか。また、市民への周知はどうするか。

答 家屋要件は、築後10年経過しているものを対象と考えている。また、機能の向上ということで、トイレなども対象になる。現在要綱を作成している。今後、広報やホームページ等で周知していきたい。

八幡浜港湾整備懇談会および船舶航行安全委員会委員の報償金について

問 今回設置される懇談会並びに委員会のメンバーおよび検討する内容はなにか。

答 港湾整備懇談会では、第1期工事の耐震フェリー桟橋、耐震可動橋、港湾道路フェリーターミナルの規模と配置について意見を聞く。委員については、フェリーなどの港湾関係者、バス・JRなどの交通関係者、商業関係者、有識者、国・県・市および市議会を予定している。

問 航行安全委員会は、主に施工期間の船舶の航行への支障について検討するため、委員については、フェリー関係者、漁協、国交省、海上保安部、県を予定している。

八幡浜駅前広場整備事業測量設計業務委託料について

理事者説明 都市再生整備計画に基づき、駅前広場を改修するための測量設計の費用317万6000円で、主に、照明灯の更新、案内板設置、歩道・車道の改修などを予定。

問 この測量設計にこんなに費用が要するのか。今回の設計業務に国の補助があるとのことだが、工事の際も国の補助はあるのか。

答 工事は駅前広場全体の整備を予定しており、費用は大体2千万円程度かかるため、妥当な金額と判断している。実際の工事についても国の補助対象となっている。

問 市民の要望が強いのは、駅ホーム内の段差や階段である。JRと協力して改修できないか。

答 駅構内の階段は、特に車椅子の方は大変だと思ふ。可能かどうか検討したい。

旧八幡浜市立図書館視察

石崎 久次 民生委員長
 9月2日の議会初日、旧八幡浜市立図書館の現況調査委託料として、251万5千円もの予算提案があり、私たち議員としては、今のその建物が、調査し保存するに値するのかわ、実際に見てみようじゃないかということになり、今回の視察となりました。まず、玄関を入り、担当職員の説明を聞きましたが、ただ、松村正恒氏が設計したというだけで、外壁は大きなひび割れがあり、2階の天井は雨漏りが原因と思われる何か所ものシミのあと。そのうちひどい所は、剥がれ落ちようとしている状況で、本当にこの建物にそれにあう価値があるのか疑問に思っただけであります。議員の中にも、この建物を残すべきという方も数多くおられますが、私は是非、一度市民の皆様にも現地に足を運んでいただき、市民の皆様も判断で残すべきか、残さざるべきか考えていただきたいと思います。



8月臨時会 審議結果

番号	件名	審議結果
報告第14号	専決処分の報告について（訴えの提起について）	報告
報告第15号	専決処分の報告について（訴えの提起について）	報告
報告第16号	専決処分の報告について（訴えの提起について）	報告
報告第17号	八幡浜市土地開発公社の経営状況及び清算終了について	報告
報告第18号	宇和海文化都市開発株式会社の経営状況について	報告
議案第93号	松蔭小学校屋内運動場地震改築建築主体工事請負契約の締結について	原案可決
議案第94号	八代中学校木造校舎地震改築建築主体工事請負契約の締結について	原案可決

9月定例会 審議結果

番号	件名	審議結果
請願第6号	伊方原発を再稼働させないことを求める請願について	継続審査
請願第7号	避難計画が策定され住民の安全が保障されるまで、伊方原子力発電所3号機の再稼働をしないことを求める意見書提出についての請願書	継続審査
報告第19号	専決処分の報告について（母子父子家庭小口資金貸付金の支払請求に係る和解について）	報告
報告第20号	専決処分の報告について（日土東地区公民館による草刈作業中に発生した自動車破損事故に係る相手方との和解及び損害賠償の額の決定について）	報告
報告第21号	平成25年度八幡浜市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
認定第1号	平成25年度八幡浜市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第2号	平成25年度八幡浜市水道事業会計決算の認定について	継続審査
認定第3号	平成25年度市立八幡浜総合病院事業会計決算の認定について	継続審査
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議のない 答申
議案第95号	平成25年度市立八幡浜総合病院事業会計資本金の額の減少について	原案可決
議案第96号	次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第97号	八幡浜市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

番 号	件 名	審議結果
議案第98号	八幡浜市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の確認に係る運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第99号	八幡浜市家庭的保育事業等の認可に係る設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第100号	八幡浜市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第101号	八幡浜市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第102号	八幡浜市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	原案可決
議案第103号	八幡浜市地域包括支援センターの運営及び人員に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第104号	八幡浜市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第105号	八幡浜市立公民館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第106号	平成26年度八幡浜市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第107号	平成26年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第108号	平成26年度八幡浜市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第109号	平成26年度市立八幡浜総合病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決
報告第22号	専決処分報告について（八幡浜市役所八幡浜庁舎天井漏水事故に係る相手方との和解について）	報 告
選任第1号	議会運営委員会委員の選任	議長指名
報告第23号	専決処分報告について（市立八幡浜総合病院診療費等の支払請求に係る和解について）	報 告
報告第24号	専決処分報告について（市立八幡浜総合病院診療費等の支払請求に係る和解について）	報 告
議案第110号	平成26年度八幡浜市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第111号	平成26年度八幡浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第112号	八幡浜ちゃんぼん振興条例の制定について	原案可決
議員提出議案第5号	岩淵治樹議員に対する議員辞職勧告決議について	原案可決
議員提出議案第3号	軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書の提出について	原案可決
議員提出議案第4号	農業委員会制度・組織改革への慎重な対応を求める意見書の提出について	原案可決
	議会閉会中における継続審査について	原案可決

各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。

そのほかについては全員賛成で可決されました。

議 席		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
議案番号	氏 名	西山一規	佐々木加代子	竹内秀明	岩淵治樹	平家恭治	河野裕保	石崎久次	樋田都	新宮康史	上田浩志	井上和浩	遠藤素子	宮本明裕	山本儀夫	大山政司	萩森良房		
	議案第98号	可	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	○	
議案第101号	可	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○
議案第102号	可	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○
議案第103号	可	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		○	○
議案第106号	可	○	○	○	○		○	○	×	○	○	○	○	×	○	○		○	○
議案第109号	可	○	○	○	○		○	○	×	○	○	○	○	×	○	○		退席	○
議案第110号	可	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議員提出議案第5号	可	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×		×		

[○：賛成 ×：反対 大山政司議長は採決に入っておりません]

議 会 日 誌 (H 26. 6 .20 ~H 26. 9 . 2)

◆ 委員会活動状況

- 7月2日 議会だより編集委員会開催
- 8月1日 議会運営委員会開催
- 27日 議会運営委員会開催
- 8日 市議会協議会開催
- 〃 行財政問題特別委員会開催
- 26日 議会運営委員会開催
- 29日 行財政問題特別委員会開催

◆ 庶務関係

- 6月24日 議長が第64回社会を明るくする運動推進委員会に出席
- 25日 議長が八幡浜市シルバー人材センター第4回定期総会に出席
- 〃 原水爆禁止国民平和進行四国コース愛媛県実行委員会が非核平和行政についての要請のため来訪
- 26日 議長及び関係議員が八幡浜地区施設事務組合議会臨時会に出席
- 27日 正副民生文教委員長が愛媛拉致議連総会及び記念講演会に出席(松山市)
- 30日 国道378号整備促進協議会会計監査(議長監事：事務局伊予市来訪)
- 7月3日 議長及び民生文教委員長が八幡浜市地域福祉基金運営協議会に出席
- 〃 正副議長及び各常任委員長が国民体育大会八幡浜市準備委員会第1回常任委員会に出席
- 〃 正副議長が保内心和会総会に出席
- 4日 議長、産業建設委員長が国道197号地域高規格道路建設促進期成同盟会定期総会及び国道378号整備促進期成同盟会定期総会に出席
- 6日 正副議長及び議員がスポーツフェスタ2014開会式に出席
- 12日 議長が一般国道378号俵津玉津トンネル竣工式及び開通式に出席(西予市)
- 〃 議長が大洲市名誉市民故西田司氏大洲市葬に参列(大洲市)
- 14日 A L T (外国語指導助手) 退任帰国挨拶のため来訪
- 〃 議長及び産業建設委員長が国道378号整備促進協議会定期総会に出席(伊予市)
- 22日 議長が海の日記念式典に出席(宇和島市)
- 23日 正副議長及び議員が愛媛県市議会議員研修会及び愛媛県市議会観光振興議員連盟定期総会に出席(松山市)
- 24日 議長が道路期成同盟会による県知事、県議会及び自民党愛媛県支部連合会要望に出席(県庁)

- 7月24日 正副議長が第48回うわじま牛鬼まつり歓迎会に出席(宇和島市)
- 25日 議長が森と湖に親しむ旬間クロッケー大会開会式に出席
- 28日 議長及び議員が平成26年度八幡浜市人権・同和教育推進者研修会に出席
- 29日 議長が第25回愛媛県反核・平和の火りレー来庁式に出席、要請書受理
- 〃 原水爆禁止愛媛協議会及び原水爆禁止松山市民会が非核法制定等についての要請のため来訪
- 8月1日 議長が第24回世界少年野球大会愛媛大会開会式に出席(松山市)
- 4日 新任A L T (外国語指導助手) 赴任挨拶のため来訪
- 〃 八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会打合せのため事務局が来訪
- 〃 議長が知事との意見交換会に出席
- 6日 正副議長が第9回全国市議会議長会研究フォーラムin岡山に出席(岡山市)(~7日)
- 10日 議長が第61回八西柔道大会に出席
- 12日 議長が伊方原子力発電所環境安全管理委員会に出席(松山市)
- 〃 議長が「てやてやウェーブ」審査員として出席
- 15日 議長が愛媛県戦没者追悼式に出席(松山市)
- 〃 議長が第44回八幡浜みなと花火大会に出席
- 18日 議長が国道197号地域高規格道路建設促進期成同盟会及び国道378号整備促進期成同盟会等合同による国土交通省四国地方整備局要望に出席(高松市)
- 19日 議長が八幡浜市交通安全推進協議会総会に出席
- 〃 議長及び関係議員が第72回国民体育大会八幡浜市準備委員会第2回総会に出席
- 20日 議長が八幡浜地区施設事務組合消防職員意見発表会に出席
- 〃 議長及び産業建設委員長が南予水道企業団議会議員協議会及び定例会に出席(宇和島市)
- 21日 議長及び産業建設委員長が八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会定例会に出席(大洲市)
- 22日 正副議長が第13回大学女子ソフトボール大会開会式、歓迎レセプション、始球式及び閉会式に出席(~24日)
- 27日 議員が平成26年度人権同和教育推進者研修会に出席
- 9月1日 正副議長及び議員がシーフードセンター八幡浜開所式に出席

編集後記

このたび議会だより編集委員長に任命されました西山一規です。

議会だよりが皆様にとって身近な存在となれるよう、読みやすく、わかりやすいものとなるよう努めてまいります。印刷は2色刷りですが、今までの色文字が読みづらいとの指摘があり、今回は読みやすさを考慮して茶色と黒の2色といたしました。

紙面構成や記事内容などでご意見ご要望等ございましたらご連絡ください。



《議会だより編集委員会》

- | | |
|-------|---------|
| 委員 長 | 西山 一規 |
| 副委員 長 | 竹内 秀明 |
| 委員 | 佐々木 加代子 |
| 委員 | 平家 恭治 |
| 委員 | 河野 裕保 |
| 委員 | 樋田 浩志 |
| 委員 | 上田 志 |
- TEL (代) 22-3111
八幡浜市議会事務局

市議会の詳しい情報は、八幡浜市議会のホームページをご覧ください。

八幡浜市議会 検索